

沖縄の植民地的近代

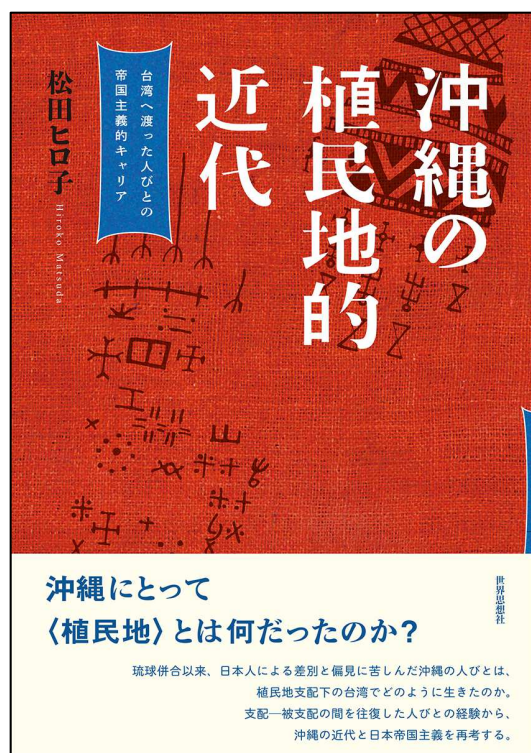
台湾へ渡った人びとの帝国主義的キャリア

松田 ヒロ子

◎本書の内容◎


- 序章 沖縄の近代を再考する
- 第一章 沖縄の人びとはなぜ海外へ向かったのか？
- 第二章 帝国の拡張と八重山の近代
- 第三章 「出稼ぎ者」の帝国主義的キャリア形成
- 第四章 植民地医学と帝国主義的キャリア形成
- 第五章 帝国日本のクレオール
- 第六章 米軍統治下沖縄への「帰還」

おわりに



沖縄にとって〈植民地〉とは何だったのか？

琉球併合以来、日本人による差別と偏見に苦しんだ沖縄の人びとは、植民地支配下の台湾でどのように生きたのか。支配—被支配の間を往復した人びとの経験から、沖縄の近代と日本帝国主義を再考する。

『沖縄の植民地的近代』 松田 ヒロ子 著		ご注文冊数
定価4,180円（10%税込）2021年4月刊行 A5判・上製／272頁 ISBN978-4-7907-1754-6		冊
お名前	お電話番号	書店印
ご住所〒		
 世界思想社		
〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56		
電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707		